

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1206	(H.25)No.	1206
-----------	------	-----------	------

事務事業名	生活習慣病予防重点プロジェクト事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	健康支援室	西嵐知子	

会計区分	事業コード	254801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	生活習慣病予防重点プロジェクト事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 成人保健事業費	生活習慣病予防重点プロジェクト事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	1	健康づくり
	小施策	2	保健予防の充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民の健康の維持・増進を図るとともに将来にわたる国民健康保険の持続可能な運営に資することを目的とする。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率向上:特定健診自己負担金を1,000円から500円にする他、がん検診と同時受診できる集団健診を実施。 ・高血圧症等の重症化予防:慢性腎臓病・高血圧症のハイリスク者に対して家庭訪問指導を行う。また、生活習慣病予防講演会等を行なう。 ・がん検診の受診率向上:節目年齢者の胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がんの検診自己負担金を無料にする他、予防啓発講演会や検診体制の強化を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	予防講演会の実施(15地域) 特定検診の実施(11地域) 共済費211,129 賃金2,473,200 消耗品費498,088 通信運搬費100,000 委託料14,043,519	予防講演会の実施 特定検診の実施 共済費432,000 賃金3,168,000 消耗品費277,000 印刷製本費193,000 通信運搬費100,000 委託料11,000,000			

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	17,326千円	15,020千円			
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()	14,142	12,165			
一般財源	(0) 3,184	2,855	0	0	0
人工数					
職員	2.00人	2.00人			
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 15,200千円	15,200千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 32,526千円	30,220千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
3年年間の2年目であり、様々な取組によりさまざまな効果を出せた。	計画最終年度の3年目となるため、さらに受診率を上げていくには工夫が必要

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	生活習慣病予防講演会の実施や慢性腎臓病・高血圧症の方に対して家庭訪問指導を行うなど市民の健康づくりや保健予防に取り組み、健康長寿社会の実現に貢献している。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	地域づくり組織との協働で講演会、集団特定健診、集団がん検診を行っている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
計画最終年度であるため目標達成に向けて事業に取り組む。	健康なびり21計画 特定健康診査等実施計画